

2022 年度 卒業生の就職先に対するアンケート集計

1. 実施概要

- (1) 目的：内部質保証の教育評価表を基点とし、教育改善および学生支援の好循環を構成するため、本学の教育目標である卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)を身につけているかを就職先に評価いただく。
アンケート回収後、集計・分析を行い、調査結果について公表するとともに、今後の教育活動等の改善に反映させる。
- (2) 対象企業：50 件(令和 4 年 4 月及び令和 2 年 4 月卒業生の就職先)
- (3) 回答期間：2022 年 12 月 1 日～2023 年 1 月 31 日
- (4) アンケート回答数：26 件(アンケート回収率:52.0%)

2. 集計結果

問1. 自らの目標達成のために解決しなければならない課題に対して、状況に対する正しい理解とそれに基づく最適な判断、そして積極的な態度で行動することができますか。

	回答数	割合
非常にできている	6	23.1%
ある程度できている	16	61.5%
どちらとも言えない	3	11.5%
あまりできていない	1	3.8%
全くできていない	0	0.0%
合計	26	100.0%

問2. 予測困難な社会の中で、たくましく生き抜いてゆこうとする姿勢を身につけていますか。

	回答数	割合
非常に身につけている	6	23.1%
ある程度身につけている	14	53.8%
どちらとも言えない	5	19.2%
あまり身につけていない	1	3.8%
全く身につけていない	0	0.0%
合計	26	100.0%

問3. 言語に関わる高度なリテラシーを獲得し、それに基づくコミュニケーション能力を実践的生活に活用することができますか。

	回答数	割合
非常にできている	8	30.8%
ある程度できている	11	42.3%
どちらとも言えない	5	19.2%
あまりできていない	1	3.8%
全くできていない	1	3.8%
合計	26	100.0%

問4. 学位プログラムに関わる専門的な知識・技能を獲得し、それを職業生活において活用することができますか。

	回答数	割合
非常にできる	5	19.2%
ある程度できる	17	65.4%
どちらとも言えない	4	15.4%
あまりできない	0	0.0%
全くできない	0	0.0%
合計	26	100.0%

問5. 「育心育人」の精神に基づく他者への配慮、多様性への理解、自らの人間性の向上を通して人間性あふれる豊かな社会を実現しようとする態度を身につけていますか。

※「育心育人」とは、広島文教大学の教育理念で、「心を育て、人を育てる。」精神のことです。

	回答数	割合
非常に身につけている	12	46.2%
ある程度身につけている	9	34.6%
どちらとも言えない	4	15.4%
あまり身につけていない	0	0.0%
全く身につけていない	0	0.0%
無回答	1	3.8%
合計	26	100.0%

問6. 本学へのご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

- ・「一番保育が楽しい！って言える自信があります」と、楽しくイキイキ働いておられます。この方のように、こんなことやってみたい！という意欲を育てていただけたとしてもありがたいです。
- ・非常に優秀な方です。今後ともよろしく願い致します。
- ・貴学卒の職員は、礼儀正しく自分の目標に向かって日々邁進しております。もし可能でしたら、学内会社説明会があればそちらの日程の案内をいただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・接遇や電話対応など、社会人としての基本的なことが知識としてあれば社会に出て困らないのではないかと思います。コロナ禍で仕方ない部分もありますが、コミュニケーション能力も必要かもしれないです。
- ・県北部出身の方がおられた場合、当社のことを紹介していただきますと幸いです。
- ・前向きに意欲的に頑張っておられます。
- ・キャリアの先生からも、証券業界のすばらしさを学生さん達に伝えてほしいです。(貯蓄から投資・人生100年時代・老後2000万円問題等)
- ・清潔感もあり、誠実さもあり期待していましたが、お二人のうちお一人が3月末で退職されることとなりました。家庭の事情とは言われていましたが、まだまだ保育の入口、引き止められなかったのが残念です。一所懸命過ぎたのではないかと思います。
- ・今後共、意欲に溢れる学生の採用を考えております。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・質問が広角であり、判断に迷った。真摯な態度で休みことなく勤務しているので今後期待しています。
- ・コミュニケーション、上下関係、社会人としてのマナーなど教育に力を入れてほしいです。
- ・緊張感と笑顔の適切なバランスをもって仕事をされています。
- ・実習などで得た経験を現場で活かそうと一生懸命に頑張っている姿がみられ、正面から向き合い空回りしてしまう場面もありますが、微笑ましく思います。私も初心を思い出させてもらっています。たくさんの経験を重ねて全体に目を向けられるような支援者になってくれることを期待しています。

以上